

SAP ERPのインフラ構築セミナー

～クラウド選定やインフラ構築の勘どころ～

次世代ERPとして知られるSAP社のSAP S/4HANAが稼働する基盤インフラを検討する際、オンプレミス・クラウドに関わらず、SAP HANAの特性を十分に配慮する必要があります。SAPジャパンと伊藤忠テクノソリューションズ（CTC）は各分野のエキスパートと共同で、仮想環境におけるインメモリデータベース「SAP HANA」の可用性の向上とDR、データバックアップに関する検証を実施しました。

本セミナーではその検証結果をわかりやすく解き明かし、SAP S/4HANA基盤構築の検討に役立つ以下のノウハウを提供いたします。

- 1 SAP S/4HANAインフラ構築における検討ポイント
- 2 大容量SAP HANAにおける冗長性・バックアップ・DRの検証結果
- 3 検証を踏まえたSAP HANAの仮想・クラウド環境における可用性・バックアップ・DRの勘所

2018年12月13日（木）
14:00～17:00（受付開始14:00）
参加費無料（事前登録制）定員：30名

会場

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
大阪オフィス セミナールーム
大阪府大阪市北区梅田3-1-3 ノースゲートビルディング

- 主催
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- 共催
SAPジャパン株式会社
- 協力
Commvault Systems Japan株式会社

申込URL

ビジネスonIT セミナー

検索 🔍

<https://www.business-on-it.com/event/181213-mc2-osaka/>



SAP ERPのインフラ構築セミナー

～クラウド選定やインフラ構築の勘どころ～

時間	プログラム
14:30 - 15:10	<p>SAP S/4HANA インフラ構築における検討ポイントと効率的なSAPシステムランドスケープ管理ソリューションのご紹介</p> <p style="text-align: right;">SAPジャパン株式会社 ソリューション統括本部デジタル・エンタープライズ・プラットフォーム部 シニア・ソリューション・スペシャリスト 渡辺 清英</p> <p>クラウド化の浸透とともにアプリケーションやシステムのデプロイメントオプションも多様化している今日、SAPシステムのためのインフラ構築も複雑化の一途をたどっています。本セッションでは、S/4HANAのデプロイメントオプション、SAP HANA の高可用性（HA/DR）や拡張性オプションなどのインフラ構築における検討ポイント、およびハイブリッド環境におけるSAPシステムランドスケープを効率的に管理するためのソリューションについてご説明します。</p>
15:10 - 16:00	<p>大容量メモリHANAの仮想/クラウド環境における可用性・バックアップ・DRの勘所</p> <p style="text-align: right;">伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 クラウドサービス企画開発部 部長代行 神原 宏行</p> <p>■ 近年、アプライアンスが当たり前であったSAP HANAは、仮想環境やクラウド（IaaS）環境上でも数TBクラスまで本番のSAP HANAがサポートされ、その活用が増加しています。本セッションでは、非機能要件である可用性・保全性(Disaster Recovery・バックアップ)について、9社で共同検証を行った結果について解説いたします。</p>
16:00 - 16:10	<p>休憩</p>
16:10 - 16:50	<p>CommvaultによるHANAのバックアップ/リカバリ、クラウドへのDRおよび移行手法</p> <p style="text-align: right;">Commvault Systems Japan株式会社 セールスエンジニアリング Principal Systems Engineer 渡邊 健一 氏</p> <p>■ 今も昔も必要な「バックアップ」ですが、SAP HANAをはじめとした新しいテクノロジーへの対応や法令遵守、またリストア、DR先としてオンプレミス環境ではなくクラウド環境の利用が増え、従来のバックアップ方式では対応できない状況が発生しています。本セッションでは、Commvaultがこのような状況をどう解決するかをご紹介します。</p>
16:50 - 17:35	<p>SAP ERPをクラウド基盤（IaaS）で稼働させるときの勘どころ ～基幹システムのIaaS利用に対する課題の最新の傾向～</p> <p style="text-align: right;">伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 クラウドサービス企画開発部 部長代行 神原 宏行</p> <p>■ 「SAP S/4HANA」を始めとするSAP ERPの稼働環境として、クラウド基盤（IaaS）を採用した企業が共通して求める条件には、次の3つが挙げられます。①安定稼働や性能の保証 ②セキュリティの担保 ③TCO削減</p> <p style="text-align: center;"><small>※プログラム内容・タイムスケジュールは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。</small></p> <p>CTCでは2016年にこの条件を兼ね備えたクラウド（CUVICmc2）をリリースし、30社以上の基幹系システムの本番環境としてご利用頂いています。重要システムのクラウド化へ向けた検討ポイントや幾つかのお客様の導入事例を、サービス紹介を交えながら解説してまいります</p>

申込URL

<https://www.business-on-it.com/event/181213-mc2-osaka/>

【お問い合わせ】

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 ビジネスonIT事務局 木本
TEL : 03-6420-4890 E-mail: mrc-info@ctc-g.co.jp

